

耕耘（こううん）作業の流れ

トラクターを使って、田圃を耕す、『耕耘（こううん）』作業です。



昨年にお収穫後、冬になり、雪の下で冬眠していた田んぼは、土が固くなっています。トラクターを使い、掘り起こしていきます。

後ろのロータリーの上についているところに、肥料を入れセットします。



田圃の土を15センチほど掘りおこし、ノズルから肥料が適量出てきて、散布します。（こめ工房では食味が良くなる、オリジナル化学肥料”こめ工房2号”を散布します。）



トラクターの通った後は、土の色が変わっていきます。

代掻き作業の流れ

田んぼに水が入り、トラクターを使って、田圃を均す、『代掻き（しろかき）』作業です。



代かきは田んぼに水を入れたあと、土と水をよく混ぜながら、土の表面を平らにして水の深さを揃えます。田植えの準備作業になります。



庄内平野のあちこちで、代掻き作業が急ピッチで進められています。

耕耘（こううん）・代掻き作業は
藤島町 阿部さんにご協力いただき、
同じ圃場を取材させていただきました。

